

発 言 通 告 書

令和3年2月25日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 山瀬 忠 吉

次のとおり通告します。

発言順位	8	受領日時	2月 25日 午後 1時 15分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式		発言時間	約 20 分
答弁を求める者	・市長 ・農業委員会会長	・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	再犯防止への取組について	(1) 出所者が住まいや就労支援等について相談できる窓口はあるのか。 (2) 出所者が迷うことなく窓口に相談に行くことができるための取組について、本市はどのような認識をしているのか。 (3) 本市独自で再犯防止の観点から、専門家を招いて講演を依頼することについて考えを伺う。
2	要支援認定者について	(1) 2025年における本市の高齢者人口・要支援認定者・要介護認定者数の推計は何人になるのか。 (2) 本市には、医療の専門家と介護の専門家が話し合い、介護対象者の個別プランを作成し、対象者が定期的に継続して取り組める仕組みはあるか。 (3) 要支援1や2から元気になり支援を必要としなくなった方は、年間何人いるのか。 (4) 地域包括ケアシステムの役割はますます重要となるが、地域ごとに医療・介護従事者が連携し、課題解決を図る話し合いができる仕組みについてどのように取り組むのか。
3	コロナ禍における経済対策について	(1) コロナ禍におけるこの一年で、売上げ減少による経営難などに関して本市ではどういった相談があり、件数の推移はどうなっているのか。 (2) 本市において9割を超える中小企業に対し、雇用を守るためにどういった支援策を用意しているのか。

